

富岡市長賞 佳作

## 税についての理解と未来

西中学校 3年 上原 友梨華

税金と言われて、私たちが一番身近に感じるものは、やはり消費税だと思います。最近消費税が10パーセントに引き上げられるという話も出ていますが、周りの人は反対なのに対して、私は賛成です。

税金があるから、私たちは学校で勉強が出来ます。公共サービスを受けられます。綺麗な道路を歩けます。そんな税金の有効利用の中で私が着目したのは「国債の返済」です。今現在の日本は、収入の約5割が国債です。そしてそれを返すためにまた借金をする、と、がちが明きません。

そこで消費税が10パーセントになったらどうなるか、を考えてみました。

まず増えた国の収入は、今回多大なる被害を受けた、東北地方の人々に回し、残りの税金などで他の人々はいつもと変わらない暮らしが出来ると思います。それから東北が落ち着いたら、国債の返済にそれらを当てます。単純計算として、消費税により入ってくる税金は2倍になるので、国債の返済額は上がります。それから、話題にも上った「仕分け」で、国に必要なお金を全て税金でまかなえるようになればよいと思います。国債を全て返済することが出来れば、他国に対する引け目も消え、国交がもっとスムーズになると思います。

それらを実際にやってみるとしたら、まず消費税の増税という点から、政府にブーイングが来ると思います。ですが「増税は必要なこと」としっかり説明すれば、国民もきっと分かってくれます。東北のために使えば、政府の考えは正しかったときっと皆納得してくれます。仕分けは国民からも好評価を得ていたもので、さらにむだなものをなくすことはとてもよいこととなります。そして国債が返済出来れば、政府にも国民にもよいことです。それは実現不可能な世迷言ではなく、実現可能なものとして、今私たちの目の前にあります。それなのに周りの人は消費税が上がるのは嫌、と言っています。そこはしっかりと、増税に否定的な意見を持っている人もいる、と理解するとともに、肯定的な意見の人と、否定的な意見の人で、お互いの意見を確かめ合って、両方が共存出来るようにすることが大切だと思います。

国民の一人一人が、税についての理解をより深め、税金があるからこの幸せな生活が送れていることを感謝して、それだけでなく、未来も考えていかなければならないはず